

基金を活用した助成事業のご紹介

協働助成事業(テーマ希望型)

ネットヨタ山形株式会社からの寄付による事業

《ネット山形『自然を大切に』活動支援事業》

1 輝け！モンテロード花咲か事業

(1)事業実施団体 きらりロードの会 (山形市)

(2) 事業内容

NDソフトスタジアムに通じる山形市立谷川地内の道路に、たくさんの花や球根を植え、「花の山形」にふさわしい環境づくりに取り組んでいます。7月17日と11月6日には、大学生サークルや周辺の企業、寄付者であるネットヨタ山形等の皆さんと共に汗を流し、植栽を行いました。この活動を通じたボランティアの人材育成にも取り組んでいます。



2 どんぐり拾って森を作り、悪役の虫たちも知る自然体験活動

(1)事業実施団体 (特活)環境ネットやまがた (山形市)

(2) 事業内容

人間活動の影響で、里山の良さが失われ、森林等の生態系が崩れてきています。この現実を知り、私たちの日常生活の在り方を見直す必要があります。9月20日に親子で山形市東部の千歳山と西部の富神山に登る自然観察会を開催しました。立ち枯れの実態やそれに関わる昆虫を観察することで、自然を体験し、私たちに何ができるかを考えるきっかけになりました。



3 まちなかのかわと緑を守ろう 撞木川環境整備事業

(1)事業実施団体 (特活)長井まちづくりNPOセンター(長井市)

(2) 事業内容

撞木川は、街なかにながら自然環境に恵まれ、歴史的風致が残っています。今後、川の自然環境を維持していくためには、市民が率先して川や周辺環境を整備するとともに、川を楽しむながら活用していくことが必要です。

9月26日には、「撞木川草木染教室」を開催し、周辺で採ったヨモギ等を使って、地元染物工房から御指導いただきながら、楽しく染め上げました。



メッセージ ネットヨタ山形株式会社 代表取締役社長 高橋 修さん

当社は、自然を大切にされる皆さんの活動を支援するために、やまがた社会貢献基金に寄付をさせて頂いております。事業を通じて、NPOの皆さんの想いが実現し素晴らしい故郷づくりの一助になればと思っております。

また、私をはじめ社員の皆がNPOの皆さんと一緒に汗を流す事により、当社の企業スローガンである「人にやさしく、自然を大切に」を実践する風土が社内に少しずつ広がってきており、感謝しております。



山形ビルサービスグループからの寄付による事業

《YBSグループ 街から始める環境保全支援事業》

1 環境に負荷をかけない花のまちづくり

(1)事業実施団体 花の風の会 (新庄市)

(2) 事業内容

家庭や公共施設から出た刈り草や落ち葉の多くは、焼却ゴミとして処理されていますが、このゴミの削減や再資源化に市民レベルで取り組んでいます。

10月23日には、「お庭でたい肥づくり」研修会を開催し、ワーコム(発酵促進剤)を使ったたい肥づくりを学びました。新庄駅東口にある花壇内でたい肥化の過程を公開し、環境に負荷をかけない庭づくりを広く普及させていきたいと考えています。



メッセージ 株式会社山形ビルサービス 代表取締役社長 岩田常夫さん

当社は、次の世代へ引き継ぐ地球環境の保全を、企業経営の最重要課題に位置づけ、企業活動を通して積極的に環境保全に取り組んでいます。

人と自然と街が調和した良好な都市環境づくりを通じて、環境保全を推進する活動を支援します。



協働助成事業(テーマ希望型)

渋谷建設株式会社からの寄付による事業

《渋谷建設 ふるさと山形の未来を築く子育て支援事業》

1 ポポーのママチル・キャンプ

(1)事業実施団体 (特活)ポポーのひろば(村山市)

(2) 事業内容

少子化により、親となって初めて乳幼児に接し戸惑う母親や、マニュアル通りにいかない子育てに苛立ち、自信を喪失し、自己と向き合うゆとりが足りない親が増えています。

ママと乳幼児を自然の中に連れ出し、同じ子育て仲間とじっくり話し合ったり、楽しく学び合ったりすることで、普段の生活を見つめなおす機会としてもらうことを目的に、9月21、22日に「ママチル・キャンプ」を開催しました。



メッセージ 渋谷建設株式会社 代表取締役社長 渋谷忠昌さん

当社は、「県民の生活と安全のために品質の追求と維持を行う」という【品質基本理念】と「めぐまれた自然と産業との調和をめざして環境保全活動を推進する」という【環境基本理念】のもと、ふるさと山形の発展に貢献すべく企業活動を行っています。

今般、創業100年を記念し、ふるさと山形の未来を築く子どもたちの健やかな成長を願って寄付を行いました。



=この他の助成事業= 子育て家庭への訪問支援試行事業 / (特活)やまがた育児サークルランド(山形市)

山形県民共済生活協同組合からの寄付による事業

《『助けあいの心』地域の子育て機能向上支援事業》

1 あそびのわくわく本舗

(1)事業実施団体 東北文教大学教育力向上サークル “ええじゃないか” (山形市)

(2) 事業内容

家族構成の変化、生活環境の変化により、遊び環境としての仲間、時間、空間の「3つの間」が減少しています。

遊びを通して開発される創造性、社会性、感性、身体性の能力向上を目指し、集団遊びの楽しさ等を体験してもらうことを目的に、7回シリーズで、楽しみのあるイベント「あそびのわくわく本舗」を開催しています。10月17日には「どろだんご」を作りました。



メッセージ 山形県民共済生活協同組合

「助けあいの心から生まれた保障」県民共済は、相互扶助の理念のもと、地域の皆さまの安心、安全で豊かな生活を応援しております。

今年、山形県での事業開始十周年を記念し、やまがた社会貢献基金に寄付を行いました。

子育て支援を通じて助けあいの心を社会全体に広げ、地域における子育ての環境づくりを推進する一助になればと思っております。



=この他の助成事業= 地域における子育て支援活動を整備する活動 / (特活)まごころサービス長井(長井市)

トピック①

やまがたNPO活動推進フォーラム ～多くの皆様のご参加ありがとうございました～

9月12日、遊学館(山形市)を会場に約300名の皆様より参加いただき、「やまがたNPO活動推進フォーラム」が開催されました。基調講演では、東京大学名誉教授の月尾嘉男氏から「そうだ！月尾センセイに聞いてみよう～未来社会の最前線・“私たちの地域のおこし方”～」と題して講演をいただきました。

また、子育て、環境、まちづくりの3つのテーマで、NPOと行政等が議論する「お見合い会」を開催し、熱のこもったやり取りの中から新しい協働の芽を育むことができました。



月尾嘉男氏